

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（経営者）	・当県だけの特性かもしれないが、中越地震の状況も2～3か月後となれば、今のような低迷状況からは少し改善するかもしれない。今のところは中越の地震であっても県全体が冷え込んでいる状況である。
		スナック（経営者）	・新潟県中越地震以来、客足がぴったりと途絶えていたが、少しずつ回復しつつあるため、例年並みとはいかないまでも、12月、1月は人の動きが今より良くなる。
		通信会社（営業担当）	・来年4月の個人情報保護法の施行までの間は、駆け込み需要が期待できる。
		通信会社（営業担当）	・取引先の中小企業までも購買意欲が始め、設備投資に係る検討を始めている。
		設計事務所（経営者）	・建設業は震災復興のため一時的には上向きそうだが、その後は不明である。
		住宅販売会社（従業員）	・少ない展示場来場者であるが、5割以上の確率で受注見込みが取れている。
	変わらない	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・台風の影響や地震の影響で、個人消費は必要な購買、支出等はあるが、反動としてその後は節約に向かう。
		百貨店（売場主任）	・冬物衣料については、これから寒くなったとしても12月末からクリアランスに入るため、既に勝負ありの状況で、今後2～3か月先もこのままずると推移する。
		百貨店（販促担当）	・冬物商材も暖冬傾向でなかなか火がつかない。また冬から春にかけてのヒット商品不在で消費傾向に明るい兆しが見当たらない。
		スーパー（総務担当）	・依然として小売業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。賞与は新聞報道で前年を幾分超える話も耳にするが、我々の周囲の中では、賞与を出せないところや、絞るところの方がよく耳にする。景気の好材料が聞こえないので、景気の推移は小売に関してはまだまだだ。
		衣料品専門店（経営者）	・新潟県中越地震の地域にメーカーや顧客がいるため、地震によって販売や流通にも影響が出ており、こうした状況では悪くなってもおかしくない。
		乗用車販売店（経営者）	・新潟県中越地震の影響は懸念されるが、近年になく多くの新型車発表を受けて、ある程度の需要喚起は期待できる。
		その他専門店〔呉服〕（経営者）	・問屋でも売れておらず、地震という魔物で購買意欲が削がれている。
		一般レストラン（経営者）	・ウォッチャーをしばらく続けているが、ずっと似たような状態が続いており、この先もずっと同じ状態が続く。
		観光型旅館（経営者）	・今の状況は当面続く。なお11月28日～12月2日までの間、県と町の共同事業で新潟県中越地震の被災者300名の招待事業を実施している。来てもらった人々が元気を取り戻し、その輪が大きく広がることを期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会部門は、地震による延期分が2～3月に集中しているが、プラスの材料にはならない。二次的被害はかなり深刻である。
		タクシー運転手	・今年に入り10月まで、すべての月で前年を割っている状況である。規制緩和以降客数が減少しているタクシー業界にあって、新規参入、増車と、約700台ほど営業車が増えており、乗務員の生計が立ち行かなくなっている。タクシー業界では報道にもあるような新規参入の抑制、増車の規制等の逆特区とも言える嘆願をしている状況である。
		通信会社（営業担当）	・新潟地震、冬に向かって石油の高騰等のニュースがあり、消費全体に明るさが見えない。ボーナス時期を迎えてはいるが、地元企業においては好景気という話は伝わってこない。
遊園地（経営者）	・正月には、暖冬予報もあり、イベントを組んで集客を図る。天候要因は大きいですが、新球団等活性化への期待はある。		
美容室（経営者）	・プロ野球の新球団が来るということが一気に活性化につながると思えず、節約することに慣れた状態で推移する。		
住宅販売会社（経営者）	・展示場来場者数は前年に比較しほぼ横ばいである。ローン減税反動落ちも一段落しており、しばらくこのまま推移する。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・間違いなく悪くなる。これまで曇り時々晴れという状況であったが、これからは曇りという方向に急旋回する。地方都市の悲しさというか、大企業の恩恵が少ない。	

商店街（代表者）	・ここ数か月、来客数は前年比ほぼ横ばいであるが、売上が5%程度落ち込んでおり、客の購入単価の落ち込みが続くものと予想される。
百貨店（企画担当）	・今の消費は体力が無いため、暖冬傾向であればそのまま買わずに済みます。クリアランスはある程度売れるが、それは売上であって利益は大幅に減る。それにより全体的な我々の景気は悪くなる。
百貨店（売場担当）	・百貨店内での若い人たちの層では、ボーナス支給やクリスマス控え、自分にご褒美、他人にプレゼント等と高額商品が動いている。しかし全体的な客層を見ると、40歳以上の客は地震の影響もあるのか、現実を直視しているのか、買い控え傾向である。
スーパー（経営者）	・例年12月はそこそこの動きは良いが、1、2月は米の不作と価格低迷で厳しくなる。12～2月で考えると、プラスマイナス変わらない。
スーパー（店長）	・野菜の品薄からの相場高の影響がかなり大きくなって続いている。併せて暖冬で冬物商戦が厳しくなりそうである。
スーパー（店長）	・震災の影響による売上の増加はあるが、将来的には現在の過剰消費と住宅購入等による反動で、極端な買い控えが起きることが懸念される。
スーパー（店長）	・社会保険の負担増、ボーナスの減少等で手取りが少なくなり、今年は帰省客が少なくなると想定される。これが消費に反映され影響が出る。
スーパー（総務担当）	・野菜等の相場も落ち着いてくるが、原油高や円高の影響等により、厳しいことが予想される。特に原油高については、ガソリンが高値で推移しており家計を直撃し、野菜もある程度高い価格で年末を迎える。
コンビニ（エリア担当）	・大きな流れの中で、税制が変わる。そうなると年明け後に身近な最寄りにその影響が出る。
コンビニ（店長）	・実際に物を売ったり、運んだり、物が動く業界は、IT関連企業と異なり、厳しい状況がずっと続く。精神的に改善に向かう要素は末端にはない。
乗用車販売店（経営者）	・客の声では、冬のボーナスもあまり良くないという人が多く、当業界においても自動車リサイクル法が施行されるため、市場では一服感が出てくる。
自動車備品販売店（経営者）	・先月、先々月より消費に陰りが出て来たようである。台風などの災害の影響がジワリジワリ出てきている気がする。
その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・たとえ仕事があったとしても、取引先同士での取り合いとなったり、一方が下請に回れるほど利益的に余裕もなく、一点だけの仕事や少ない利益になっている状態が続いている。
一般レストラン（スタッフ）	・増税や特別減税の廃止等といった話が現実味を帯びてくれば当然景気は悪くなる。税金は増えるし、社会保険料は増えるので、節約に向かうのは当然である。
その他飲食〔そば〕（経営者）	・近所の飲食店では、ランチを始める店、採算が合わずにランチを止める店、洋食から和食に変わった店等、ここ数か月で目まぐるしく様子が変わっている。数軒の空店舗はそのままのいるいな会合に出て、良い話を聞かない。
観光型旅館（経営者）	・新潟県中越地震の影響でキャンセルが入っている。台風の被害も今年は多く、大規模災害の多い年は旅行マインドが冷え込む傾向があり、紅葉期後は来客数の落ち込みが予想される。
都市型ホテル（経営者）	・11月後半時点での12～1月までの受注状況が例年と違い伸びが悪い。婚礼受注も今のところ良くない。一般宴会も金曜日の予約は良いが、今までは金曜日がいっぱいであれば他の曜日に入れてもらえたが、客の希望日に近い同業者に流れるため、平日の稼働率が低下している。また合い見積が増えており、価格競争が厳しくなっている。
都市型ホテル（スタッフ）	・復興までにどの程度の時間がかかるか全く予測ができず、真っ暗な状況である。今できることを一つ一つ確実にこなすしかない。いかに先を見た対応ができるかに掛かっている。
旅行代理店（従業員）	・例年であれば、間もなくボーナス時期ということで、恒例的な収入があったが、近年ではそれに期待できる人も減っており、その関係で春の旅行を考える人も減っている。
悪くなる	スーパー（経営者） ・流通業界では、消費税総額表示の影響がいまだに続いており、大手の出店により競争が一層激化しており、客数の奪い合い、客単価の下落、販売量の減少といったことが今後とも継続する。

		スーパー（経営者）	・現在は地震の復興需要で客数増加、客単価上昇（惣菜、家庭用品などが好調）だが、降雪期を迎え、12月以降は極端に下降する可能性が大と思う。1週間前から徐々にその傾向が出始めた。
		衣料品専門店（店長）	・この冬は防寒衣料の伸び悩みに苦しめられ、かなり厳しい。
		乗用車販売店（経営者）	・中越地震による車両買い控えの沈滞ムードに加えて、官製談合問題後の入札価格下落により土木、建設業の経営内容は特に厳しい状態である。関連する客複数に支払い遅れが出始めている。ある10年来支払い遅れが1回もなかった客はボーナス0が続き、自動車保険料の月々の引き落としも滞りがちである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊に関しては、新しいホテルが春に2軒進出した影響が出ている。時間が経過すればするほど流れた客が戻らず、そちらに定着してしまっている。また新しいスタイルの結婚式場ができ、こちら時間も時間が経てば認知され、そちらにも客が流れている。1月から3月までの入込みが悪く、相当なダメージを被っている。
企業 動向 関連	良くなる	食料品製造業（経理担当）	・地震の影響はほぼなくなり、小売店の売場カバー率も以前のレベルに回復する。また、新製品の発売や販促の強化で、前年以上に拡販に取り組む計画である。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・ここ2～3か月の売上が順調。この状態でいけば12月の最大需要期も期待が持てる。
		広告代理店（従業員）	・年度末の飛び込み物件、消化物件等の期待ができる。更にプロ野球の新球団の経済効果にも期待している。
		広告代理店（営業担当）	・楽天球団の球場外の広告看板や商標権、営業権の料金が具体化しており、得意先からの前向きな問い合わせが増えている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・中小企業は金融機関の融資によって営業を拡大する傾向が強いが、良好な環境になりつつある。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・ふじりんこの出荷が始まったが、思いの外品質も良く、注文数も昨年より多くなっている。また販売価格も平年並みが期待できる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・家電メーカーで在庫調整を行っており、生産量が思ったより伸びない。
やや悪くなる	食料品製造業（経営者）	・牛タンなどの土産品の製造、販売、レストランという業界では、今までは内部努力をしてコストアップを吸収しているが、BSEの関係で輸入解禁が来春から夏にずれ込みそうな予想で、一般消費者にも知れわたる一方で、単価も一段と上昇してきており、努力によって吸収しきれない部分が出てくるため、厳しくなる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・為替相場の急激な変動により、輸出の採算が急激に悪化している。加えて携帯電話用部品の計画を下回る状態が続くものと見ている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・昨年とは違い、円高や原材料高等の悪条件が重なっている。製品単価は限りなく下がる傾向にあり、大手は利益確保のために下請企業をいじめている。先々は不安な状況である。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	・関係の深かった市場（携帯電話、デジカメ）が更に冷え込んでくるのではないかと心配がある。	
	建設業（経営者）	・公共投資の抑制による仕事量の減少や、鋼材、石油の値上がりで材料費の上昇による利益額の目減りが予想される。	
	コピーサービス業（経営者）	・年度末商戦の前哨戦に入る時期であるが、予算の動きが悪く、案件、物件等も少ない状況である。また今期商談も減っている。	
悪くなる	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・量販店やコンビニエンスストア等の出店で、地域で営業しているスーパーや小売店が良くない。特に小売店が大きな打撃を受けており、廃業等の相談を受けたりしている。	
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・パイオフ関連の金融機関からの派遣注文が増えている状況は、今後2～3か月先も続く。その他県内の大手半導体メーカーが大規模投資を控え漸増傾向にある。この動きによる派遣注文の職種は技術職、英語職、人事、総務、経理と多岐にわたっており、取引内容の裾野が広く理想的な注文である。

やや良くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・当地にプロ野球が来るという期待感と、それにかかわる多数の職種の動きもある。それに連動して求人数も増えると期待される。特に駅東口近辺への企業進出、また流通系を中心とした各種店舗の出店予定などで期待が高まっている。しかしこうした一部の動きが当市全体に行き渡り、根付くことがカギである。
変わらない	新聞社 [求人広告] (担当者)	・県内一の温泉ホテルが民事再生法の適用申請をし、これまで活況を呈していたパチンコ業界も自主規制の動きがあり、雇用面でも厳しい状況が続く。
	職業安定所 (職員)	・求人数に伸びはみられるものの、パート等の有期の雇用が多く、請負業の場合には就業地のほとんどが県外地であり、就職者数の増加にはつながっていない。
やや悪くなる	職業安定所 (職員)	・常用求人が減少傾向にあり、更に新潟県中越地震の影響から、今後ホテル、旅館、タクシー等サービス業を中心に求人が減少に転ずる可能性がある。
悪くなる	新聞社 [求人広告] (担当者)	・県内で唯一堅調に上向いてきた製造業のD Iが悪化しており、デジタル関連需要の頭打ち懸念等から不透明感が増している。他の分野では改善の動きがみられない。